

**Pioneer** *sound.vision.soul*

**光システムケーブル**

**Optical System Cable**

**Optique Système Câble**

**System-Lichtleiterkabel**

**Cavo Fibra Ottica**

**Optische System Kabel**

**Cable de Sistema Óptico**

**光纖系統線纜**

**PDA-H05**

**取扱説明書**

**Operating instructions**

**Mode d'emploi**

**Bedienungsanleitung**

**Istruzioni per l'uso**

**Gebruiksaanwijzing**

**Manual de instrucciones**

**操作説明書**

この度はパイオニア製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。製品のご使用前に、この取扱説明書の記載事項をご確認いただき、本品を安全にご利用ください。またお読みになった後必ず保存してください。

## 接続について

- ご不明な点がございましたら、お近くの販売店にご相談ください。
- 設置、誤った取り扱いや使用法、改造、その他いかなる自然災害などにおける事故が原因のけがに関しても、責任を負いかねますのでご了承ください。

## 目次

製品概要 .....	2
安全上のご注意 .....	2
同梱品 .....	5
各部の名称 .....	6
接続の手順 .....	6
トラブルシューティング（故障かな?と思ったら） .....	11
仕様 .....	12

## 製品概要

本製品により、ディスプレイとメディアレシーバの接続距離を最大30メートルまで延長することが可能になります。

## 安全上のご注意

ご使用前に「安全上のご注意」を必ず読み、正しく安全にご利用ください。

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



### 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。

図の中に具体的な注意内容が描かれています。



⊘記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。

図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

# 警告

## 異常時の処置

万一煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源ボタンを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。



プラグを抜く

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態のまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源ボタンを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。



プラグを抜く

万一内部に水や異物等が入った場合は、すぐに本機の電源ボタンを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜く

万一、本機を落としたり転倒させることにより、キャビネットあるいはパネルを破損した場合は、すぐに本機の電源ボタンを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜く

## 設置

振動の多い所やぐらついた台や傾いたところなどを避け、安定した場所に置いてください。本機には、転倒防止の処置を行ってください。転倒防止を行わないと、落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。



注意

電源コードの上に重いものを載せたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず、重いものを載せてしまうことがあります。重いものを載せるとコードが傷ついて、火災・感電の原因となります。



禁止

## 使用環境

本機の内部に水が入ったり、濡らさないようご注意ください。屋外や風呂場など、水場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



禁止

電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



禁止

## 使用方法

本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。



禁止

本機のキャビネットを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。



分解禁止

本機の上に花瓶、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、落下して中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止

電源プラグの刃および刃の付近にホコリや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



ほこり除去

本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



禁止

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。



禁止

雷が鳴り出したらずちに使用を中止して、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



接触禁止

ディスプレイの前面パネルに、たたくなどの衝撃を加えるとパネルが割れ、火災・けがの原因となります。前面パネルには絶対に衝撃を加えないでください。



禁止

本装置には半導体レーザが搭載されています。分解、改造を行いますと、レーザ光直射による人体への影響、サージによる破損等が考えられます。



分解禁止

トランスミッタBoxの電源がONの間は、決して光レセプタクルの内部および光コネクタ先端部を直視しないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。

















禁止




# 安全上のご注意（つづき）

## 注意








### 設置

濡れた手で電源プラグを抜き差ししたり、本機を操作しないでください。感電の原因となることがあります。	 禁止	お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。	 プラグを抜く
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っばらないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。	 禁止	光コネクタ部を洗剤・溶剤等で拭かないでください。光コネクタ端面にゴミ・傷が付いたり、変形・変質により故障の原因となる恐れがあります。	 禁止
電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。	 禁止	窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる場所、エアコン・ヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。熱による変形や、本機内部の部品に悪影響を与え、火災の原因となることがあります。	 禁止
本機の上にものを置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。	 禁止	必ず3芯コンセントから電源を取り、確実に接地してご使用ください。	 アース線を接続せよ
ディスプレイを直射日光が当たる場所に長期間置かないでください。前面保護パネルの光学特性が変化し、変色したり、その原因となります。	 禁止	電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したりホコリが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。	 確実に戻す
移動させる場合は本機の電源ボタンを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部コード、転倒防止具を外したことを確認してください。コード類を外さずに移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。	 プラグを抜く	電源プラグは、根元まで差し込んでみがあるコンセントには接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事にコンセントの交換を依頼してください。	 禁止
本機を調理台や加湿器、エアコンの吹き出し口のそばなど高温、多湿になる場所あるいは油煙やホコリの多い場所には置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。	 禁止	オーディオ機器やビデオ機器など、他の機器と組み合わせる場合は、本機の電源ボタンを切った後、電源プラグをコンセントから抜いて接続してください。	 プラグを抜く

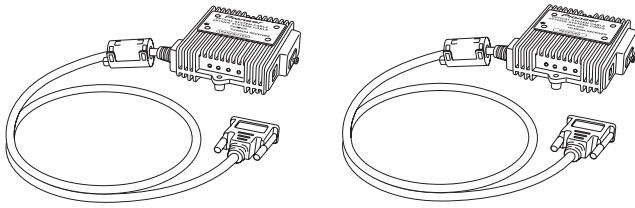
### 使用環境

本機を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。	 注意	長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。	 プラグを抜く
		周囲温度は0～40℃の範囲内でご使用ください。	 注意

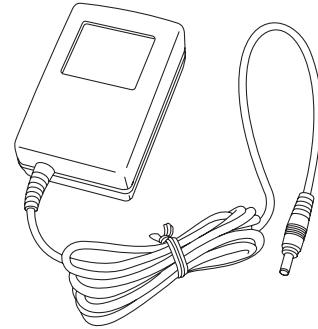
### 使用方法

長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。	 禁止	付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。	 禁止
本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。	 禁止	また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流量不足による発熱により火災・感電の原因となることがあります。	 禁止
電池をリモコン内にセットする場合、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖）に注意してください。	 注意	本装置は、付属のACアダプターを使用して下さい。それ以外のものを使用すると、火災の原因となることがあります。	 注意
本書に明記された以外の管理、調整または手順を実施すると、危険なレーザーに被爆する原因になります。	 注意		

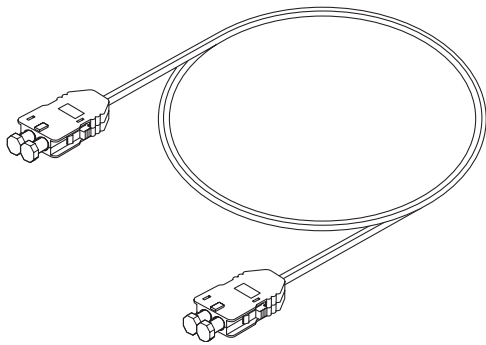
同梱品



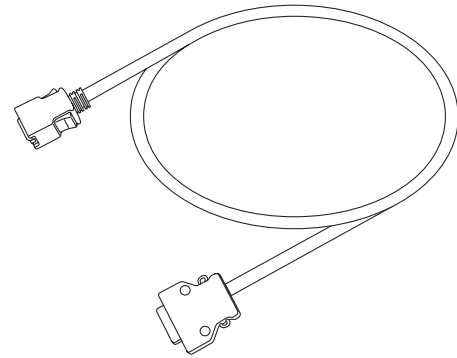
\* リピータBox (トランスミッタ ×1、レシーバ ×1)



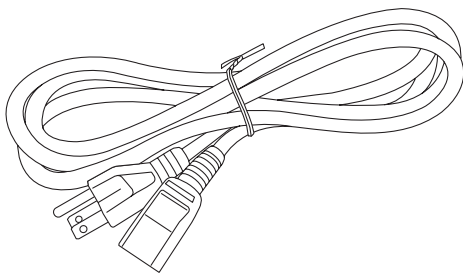
\* AC/DC 電源アダプタ ×2



\* 光ケーブル ×1



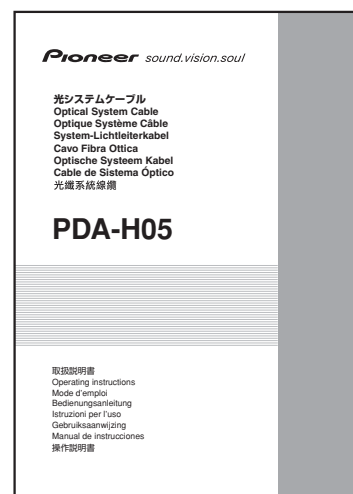
\* システムケーブル (コネクタ : 黒/銀) ×2



\* 電源コード ×2

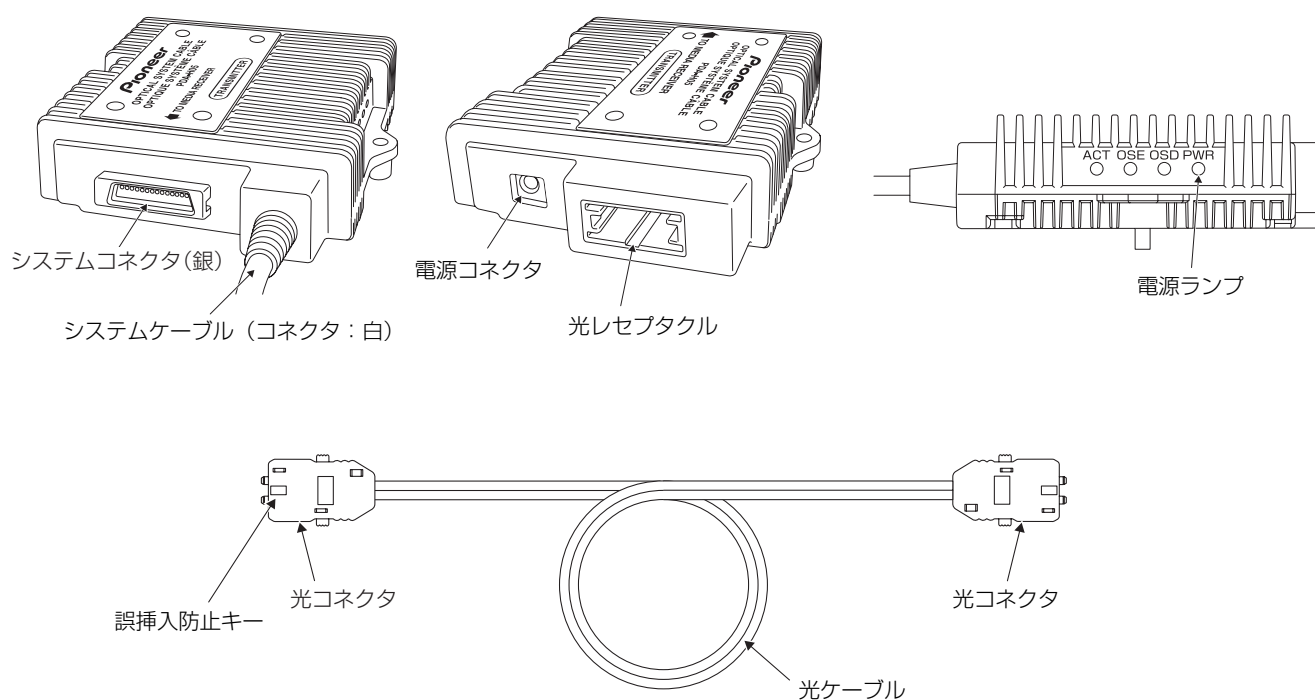
\* AC変換プラグ ×2

\* 保証書 ×1



\* 取扱説明書 (本書) ×1

## 各部の名称



## 接続の手順



### 動作環境

動作環境の温度と湿度：+0°C~+40°C；85%RH未満

注意



次のような場所には、装置を設置しないで下さい。

- ・直射日光や強い人工的な光の当たる場所
- ・湿度の高い場所や、換気が不十分な場所

注意

下記の手順に従って確実に接続してください。また、接続の際には必ずディスプレイとメディアレシーバの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



## ステップ1

トランスミッタのシステムケーブル（コネクタ：白）をメディアレシーバに接続します。

注意：ケーブルを壁にかける場合は、きつく留め過ぎたり、曲げ過ぎたりしない様ご注意ください。

注意：システムケーブル（コネクタ：白）のコネクタ先端部に衝撃を与えないでください。金属部が変形してコネクタの抜き差しができなくなる恐れがあります。

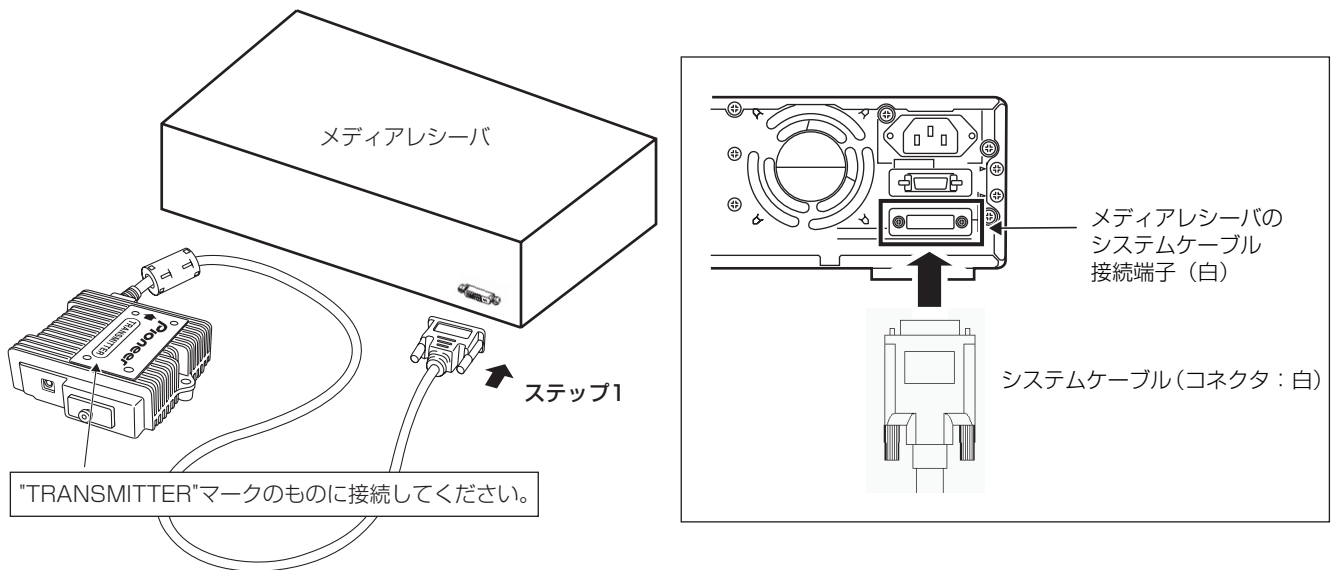


図1-トランスミッタBoxとメディアレシーバをシステムコネクタ（白）で接続

## ステップ2

ステップ1と同じ手順で、レシーバのシステムケーブル（コネクタ：白）をディスプレイに接続します。

注意：システムケーブル（コネクタ：白）のコネクタ先端部に衝撃を与えないでください。金属部が変形してコネクタの抜き差しができなくなる恐れがあります。

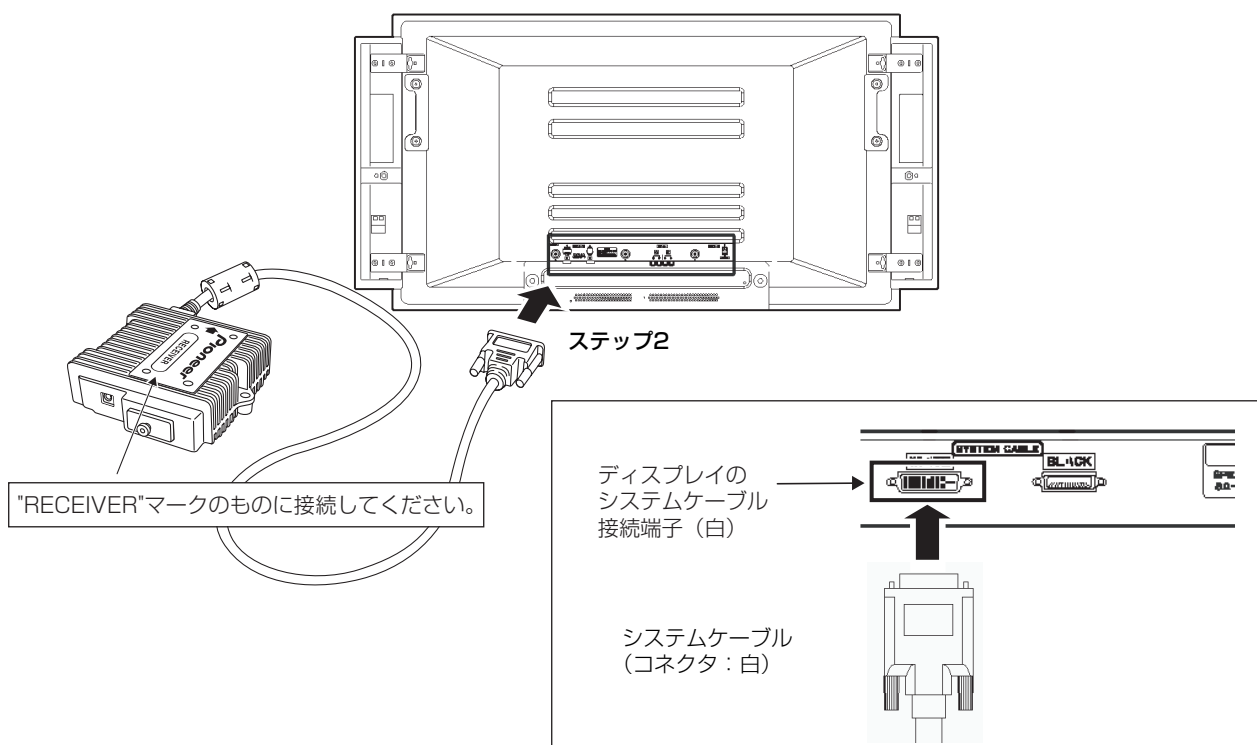


図2-レシーバBox とディスプレイをシステムコネクタ（白）で接続

### ステップ3

システムケーブル（コネクタ：銀）を図3のようにトランスミッタBox、レシーバBoxそれぞれのシステムコネクタ(銀)に接続してください。

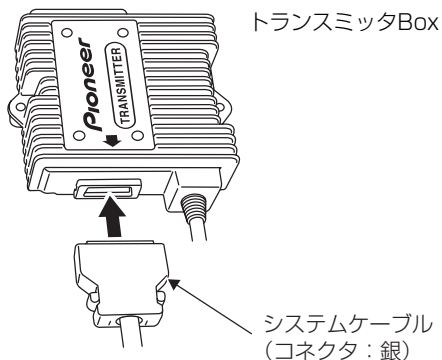


図3-システムケーブル（コネクタ：銀）の接続

### ステップ4

システムケーブル（コネクタ：黒）を図4で示すように接続してください。

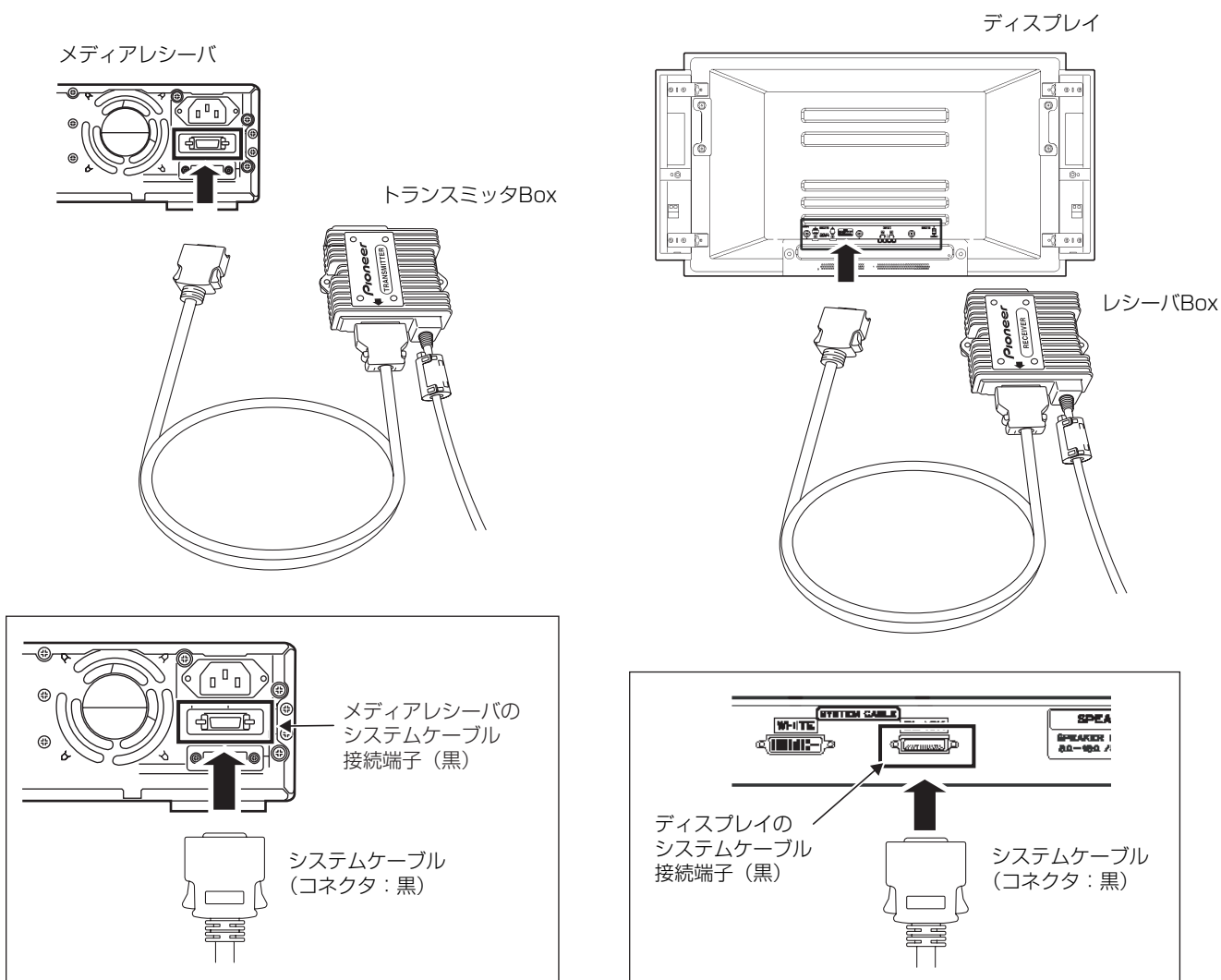


図4-システムケーブル（コネクタ：黒）の接続



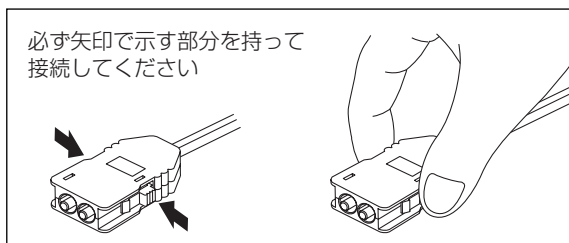
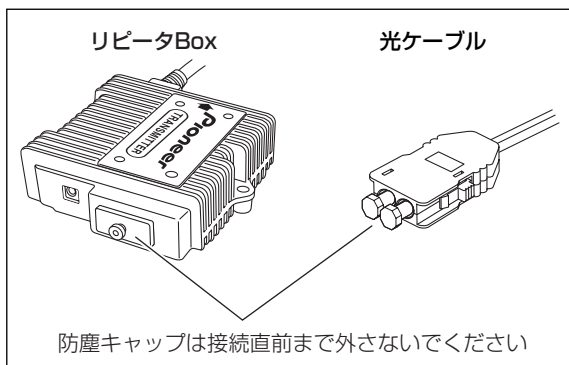
## ステップ5

トランスミッタ／レシーバBoxの防塵キャップを取り外します。図5に示されているように、光コネクタと光レセプタクルの誤挿入防止キー方向を合わせ、まっすぐに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

注意：光ケーブルを接続するまで、トランスミッタ／レシーバBoxならびに光ケーブル用の防塵キャップは外さないでください。

注意：光コネクタ先端を手で触れたり、落としたりしないように注意して取り扱ってください。

注意：トランスミッタ／レシーバBoxから光コネクタを取り外す際には光ケーブルを引っ張らず、必ず光コネクタ両側面にあるクリップを押しながらまっすぐに引き抜いてください。



1. 光ケーブル、リピータBoxの防塵キャップは接続直前まで外さないでください。

2. 光ケーブルをリピータBoxに接続する場合は必ずクリップを持ってまっすぐ挿入して接続してください。

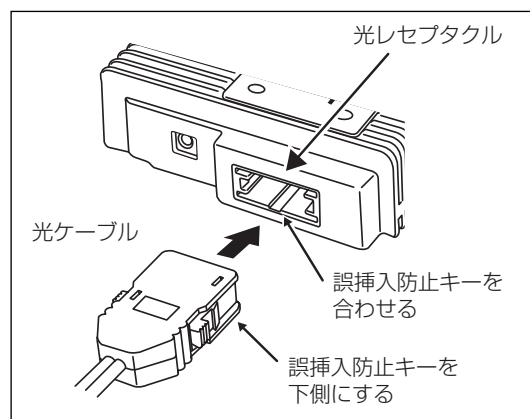
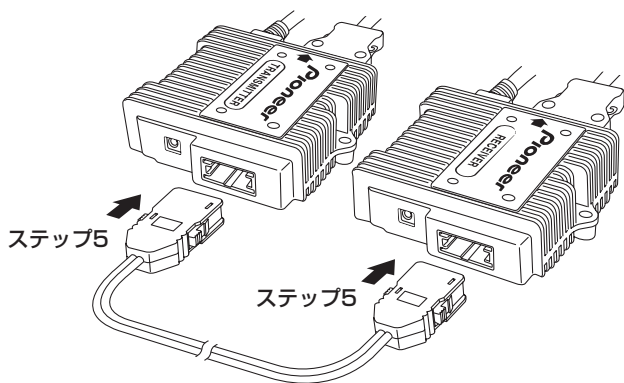
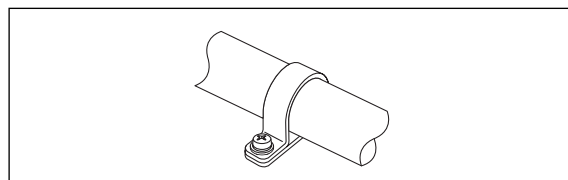


図5-光ケーブルとリピータBoxの接続

- 光ケーブルは衝撃やストレスを加えるとケーブルの変形や断線により伝送不能となることがあります。固定する場合、ステップルなどの衝撃のかかる方法はさけ、右図のようなケーブルクランプを用い衝撃やストレスのかからない方法で固定するようにしてください。
- 接続していない光コネクタは防塵キャップを付けてください。
- 光コネクタ部分および光レセプタクルに異物が付着した場合や、入った場合、正常に動作しない場合があります。
- 光ケーブルを曲げるときには半径15mm以上を確保してください。
- 光コネクタには方向性があります。誤挿入防止キーの方向をよく確認して接続してください。
- この光ケーブルは屋内配線用です。屋外には敷設しないでください。





本製品はFDA 1040.10およびIEC60825-1におけるクラス1レーザー製品ですが、リピータBox（トランスミッタBoxおよびレシーバBox）の電源がONの間は、決して光レセプタクルの内部および光コネクタ先端部を直視しないでください。レーザー光が目にあたると、視力障害を起こすことがあります。



### ステップ6

電源アダプタをトランスミッタBoxとレシーバBoxに接続します。

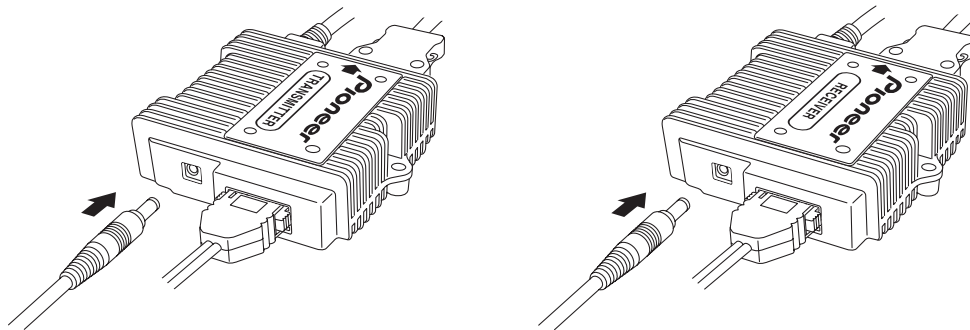
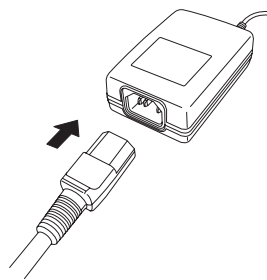


図6-AC/DC電源アダプタの接続

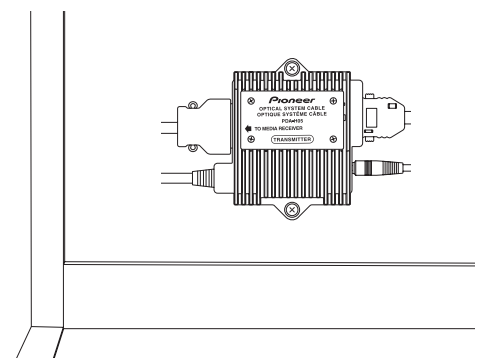
### ステップ7

付属の電源コードをAC/DC電源アダプタに接続し、コンセントに差し込みます。

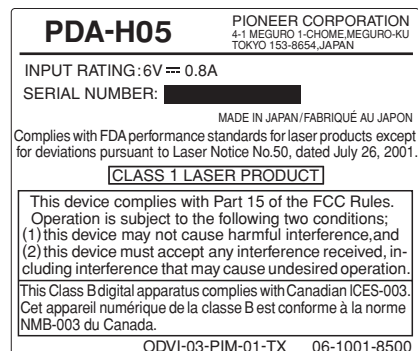


以上でオプションケーブルの接続は完了です。メディアレシーバ、ディスプレイの電源コードをそれぞれコンセントに差ししてください。電源がONの状態でご各ケーブルの抜き差しをされますと故障の原因になりますのでご注意ください。メディアレシーバとディスプレイの電源は、リピータBoxの電源がONとなっていることを確認した後にONにしてください。

- リピータボックスを固定する場合は配線が側面に出るように家の壁面等にネジで固定してください。



- トランスミッタBoxの裏面には米国FDA、レーザー製品に対する安全規格により定められた内容を含む下記ラベルが添付されています。



## トラブルシューティング（故障かな？と思ったら）

症 状	処 置																				
映像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 外部電源用として使用されている全てのプラグやジャックが、確実に接続されているかを確認してください。</li> <li>● トランスミッタBoxのLEDランプ4つとレシーバBoxのLEDランプ4つが全て点灯している事を確認してください。</li> </ul> <p style="text-align: center;">トランスミッタ</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">ケース表示</th> <th style="text-align: center;">機能と状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">PWR</td> <td>電源モニタで、電源投入時、点灯。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">OSD</td> <td>上り光受信信号モニタで、点灯時正常動作。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">OSE</td> <td>レーザー駆動制御モニタで、点灯時正常動作。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ACT</td> <td>レーザー駆動状態モニタで、点灯時正常動作。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">レシーバ</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">ケース表示</th> <th style="text-align: center;">機能と状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">PWR</td> <td>電源モニタで、電源投入時、点灯。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">OSD</td> <td>下り光受信信号モニタで、点灯時正常動作。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">OSE</td> <td>上り光受信信号モニタで、点灯時正常動作。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ACT</td> <td>DVIのHPD信号モニタで、点灯時正常動作。</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>● トランスミッタ／レシーバBoxが、それぞれメディアレシーバとディスプレイに正しく接続されているかを確認してください。</li> <li>● 光ケーブルを再接続した後に、メディアレシーバ、ディスプレイの電源をONにしてください。</li> <li>● トランスミッタ／レシーバBox内の光コネクタや、光ケーブルの光コネクタ部にほこりがたまっていないかを確認してください。またこの作業時は、電源をOFFにしてください。ほこりが見つかった場合は、お客様で除去しますと故障の原因となりますので、パイオニア・カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。</li> </ul>	ケース表示	機能と状態	PWR	電源モニタで、電源投入時、点灯。	OSD	上り光受信信号モニタで、点灯時正常動作。	OSE	レーザー駆動制御モニタで、点灯時正常動作。	ACT	レーザー駆動状態モニタで、点灯時正常動作。	ケース表示	機能と状態	PWR	電源モニタで、電源投入時、点灯。	OSD	下り光受信信号モニタで、点灯時正常動作。	OSE	上り光受信信号モニタで、点灯時正常動作。	ACT	DVIのHPD信号モニタで、点灯時正常動作。
ケース表示	機能と状態																				
PWR	電源モニタで、電源投入時、点灯。																				
OSD	上り光受信信号モニタで、点灯時正常動作。																				
OSE	レーザー駆動制御モニタで、点灯時正常動作。																				
ACT	レーザー駆動状態モニタで、点灯時正常動作。																				
ケース表示	機能と状態																				
PWR	電源モニタで、電源投入時、点灯。																				
OSD	下り光受信信号モニタで、点灯時正常動作。																				
OSE	上り光受信信号モニタで、点灯時正常動作。																				
ACT	DVIのHPD信号モニタで、点灯時正常動作。																				
映像が湾曲する またはノイズが生じる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 光ケーブルを再接続した後はシステムを再起動してください。</li> <li>● トランスミッタ／レシーバBox内の光コネクタや、光ケーブルの光コネクタ部にほこりがたまっていないかを確認してください。またこの作業時は、電源をOFFにしてください。ほこりが見つかった場合は、お客様で除去しますと故障の原因となりますので、パイオニア・カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。</li> </ul>																				



## 製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

### ●パイオニア・カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付 月曜～金曜 9：30～17：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休日は除く）

家庭用オーディオ/ビジュアル製品のご相談窓口： 0070-800-8181-22

カタログのご請求窓口： 0070-800-8181-22

ファックス： 03-3490-5718

<ご注意>

フリーフォンは、PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

パイオニアホームページでのご案内

お問い合わせ先のご案内

<http://www.pioneer.co.jp/support/>

カタログ請求とメールサービス登録のご案内

<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html>

## 部品のご購入についてのご相談窓口


付属品（リモコン・取扱説明書など）のご購入や、補修用性能部品（修理使用部品）に関するご相談についてはパイオニア部品受注センターにご相談ください。部品の交換方法などの技術的相談につきましては下記のパイオニア修理受付センターにご相談ください。

### ●パイオニア部品受注センター

受付 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休日は除く）

電話（フリーダイヤル）： 0120-5-81095

一般電話： 0538-43-1161

ファックス（フリーダイヤル）： 0120-5-81096

<ご注意>

フリーダイヤルは、携帯電話、PHSではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

## 修理のご依頼/修理についてのご相談窓口

修理を依頼される前に取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。それでも異常のある時は、必ず電源プラグを抜いてから、ご購入店へご連絡ください。

ご購入店がわからないときやお近くにないときは、パイオニア修理受付センターへご相談ください。（沖縄県を除く）

### ●パイオニア修理受付センター（沖縄県を除く全国）

受付 月曜～金曜 9：30～19：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～18：00（弊社休日は除く）

ゴープイオニア

電話（フリーダイヤル）： 0120-5-81028

一般電話： 03-5496-2023

ファックス（フリーダイヤル）： 0120-5-81029

### 沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付 月曜～金曜 9：30～18：00（土曜・日曜・祝日・弊社休日は除く）

一般電話： 098-879-1910

ファックス： 098-879-1352

<ご注意>

フリーダイヤルは、携帯電話、PHSではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

©2004パイオニア株式会社 禁無断転載

Published by Pioneer Corporation.  
Copyright © 2004 Pioneer Corporation.  
All rights reserved.

**パイオニア株式会社** 〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

**PIONEER CORPORATION** 4-1, Meguro 1 Cho-me, Meguro-ku, Tokyo 153-8654, Japan

**PIONEER ELECTRONICS (USA) INC.** P.O.BOX 1540, Long Beach, California 90801-1540, U.S.A., TEL: 1-310-952-2111

**PIONEER EUROPE NV MULTIMEDIA DIVISION** Pioneer House Hollybush Hill, Stoke Poges, Slough SL2 4QP, U.K., TEL: 44-1753-789-789

**PIONEER ELECTRONICS AUSTRALIA PTY. LTD.** 178-184 Boundary Road, Braeside, Victoria 3159, Australia, TEL: 61-39-586-6300

**PIONEER ELECTRONICS ASIACENTRE PTE. LTD.** 253 Alexandra Road #04-01, Singapore 159936, TEL: 65-6472-1111

**PIONEER HIGH FIDELITY TAIWAN CO., LTD.** 13FL., No.44 Chung Shan North Road, Sec.2. Taipei, Taiwan, TEL: 886-2-2521-3588

**PIONEER ELECTRONICS (CHINA) LTD.** Room 1704-06, 17/F World Trade Centre, 280 Gloucester Rd., Causeway Bay, Hong Kong, TEL: 852-2848-6488

**PIONEER GULF FZE** Lob 11-017, Jebel Ali Free Zone P.O. BOX 61226, Jebel Ali, Dubai, United Arab Emirates, TEL: 971-4-8815756

**PIONEER ELECTRONICS DE MEXICO S.A. DE C.V.** Blvd. Manuel Avila Camacho 138 10 piso Col.Lamas de Chapultepec, Mexico, D.F. 11000 TEL: 55-9178-4270

Printed in Japan / Imprimé au Japon